

事業系のごみ処理のあり方に関する 事業者意見交換会等で寄せられた質問・意見（全編）

1 意見交換会（各コミュニティセンター・市庁舎）で寄せられた質問・意見

意見交換会	開催数	出席者数	質問・意見数
コミュニティセンター・市庁舎	10回	69人	142件

①事業系ごみの現状（法令の規定、ごみの区分、本市の事業系ごみの現状）について

- ・ごみの総排出量が年々減少しているのは良いことだが、ごみが減った原因は何か。
（長森コミセン）
- ・産業廃棄物とは、どんなものか。（長森コミセン）
- ・令和7年度までにごみ焼却量を10万トン以下にするという目標だが、この10万トンの根拠は何か。例えば、焼却場に出入りするパッカー車の数で決まるのか。
（北部コミセン）
- ・ごみ焼却量を10万トン以下にするということであるが、事業系ごみより家庭系ごみを減らさないと、目標は達成できない。どういった意図で事業者の意見を伺うのか。（北部コミセン）
- ・事業系ごみと、一般ごみの違いは何か。（市庁舎①）
- ・今も事業系ごみを、一般ごみと分けているが、今後も分ける方向性でいくのか。ごみを減らしたいという方向は同じなのか。（市庁舎①）
- ・アパート賃貸業を営んでいる。事業系ごみとは、メーカー等が何かを作った時に出るごみを言っているのか。アパートにダストボックスを設置しているが、アパート入居者のごみは事業系か。共有部分を管理会社や大家が掃除した場合のごみはどうなるのか。50kgはオーバーしていない。（市橋コミセン）
- ・岐阜市のごみに関する管理コストを減らしたいのか。それともごみ量自体を減らしたいのか。（市橋コミセン）
- ・岐阜市は、企業誘致が少ない。市の人口を増やすには、工場よりも観光だと思う。人が増えればごみが増えることになるが良いのか。（市橋コミセン）
- ・ちょっとした意識でごみは減る。（市橋コミセン）
- ・ごみ焼却量は平成9年がピークである。ここから、なぜ減ってきたのか。
（西部コミセン）
- ・事業系普通ごみの排出量にステーションに出された分は含まれているのか。
（西部コミセン）
- ・ステーションに出していたものを許可業者に依頼したら、家庭系ごみが減るといふことか。（西部コミセン）
- ・家庭系ごみと事業系ごみは違う。明確に区別する必要がある。家庭系ごみはプラ容器の回収で減っているが、事業系も分別をしているのか。喫茶店と事務所

では、ごみの種類が違うが、事務所は紙ばかりである。事業者は紙も分けていないのではないか。市民は分別しているのに事業者はしていない。事業者も資源を分けるべきである。(西部コミセン)

- ・事業者に農業は含まれるか。(西部コミセン)
- ・事業系ごみの減量・資源化の取り組みは、市の施策の一つなのか。多くの事業者は知らない。もっとPRしていただきたい。知っていたらやると思う。

(西部コミセン)

- ・他都市ではごみ袋を買わなければならない。そういったことも併せて、岐阜市の取り組みをPRすれば、ごみの減量意識が芽生えてくると思う。(西部コミセン)
- ・事業系ごみとは何か。小さな事業所なのでピンとこない。段ボール、新聞、プラスチック容器、ビンカンペットボトルすべて分けている。小さな事業所は一般家庭と同じようにごみを分別している。(西部コミセン)
- ・法令の規定に、事業活動に伴って生じた廃棄物を、自らの責任において、適正に処理とあるが、この適正とは具体的にどういうことか。(日光コミセン)
- ・人口が減少しているから、ごみが減るのは当たり前である。コロナの時に減ったのは消費を抑制したからである。今は少しずつ戻ってきている。(日光コミセン)
- ・パッカー車のごみを広げて、事業系ごみが実際にどれだけあるか調べたことはあるか。(日光コミセン)
- ・50kg以下であれば普通ごみに出して良いなら、かなりの量の事業系ごみが含まれているので、事業系ごみを減らすことを考えなければならない。今、普通ごみはかなり減っている。(日光コミセン)
- ・家庭のごみは、人口が減少したり、高齢化したり、いろいろなことで減る。それは、事業系も同じである。1億人が5千万人になったら、消費量も少なくなる。生産量が落ちるから、当然ごみも減る。(日光コミセン)
- ・人口が減ればごみは減るものである。家庭系ごみは4,000t減っているが、事業系ごみは6,000t増えている。合計したら2,000t増えている。ごみはトータルで考えるもの。(日光コミセン)
- ・最終的に、家庭系ごみも事業系ごみも市で焼却している。ごみ焼却量を減らすことが目的であれば、事業系ごみもしっかり分別をして、焼却量を減らさなければならない。一般家庭には減量をお願いして、事業者はお任せでは、いつまで経っても減っていかない。(南部コミセン)
- ・収集運搬業者から焼却場に出される事業系ごみの実態調査をして、このうち分別できるものが入っていないか調査した方が良い。次の一手の参考になる。(南部コミセン)
- ・事業系ごみの76%が地域のステーションに捨てられている。支障はないのか。(東部コミセン)

②本市の事業系ごみの取り扱い（50 kgルール等）について

- ・50 kgルールとは、50 kg以内であれば、事業系ごみを捨ててもお咎めがないということか。（長森コミセン）
- ・50 kgルールを将来的になくしたいということか。（北部コミセン）
- ・50 kgルールがあるが、排出したごみが50 kgなのか60 kgなのか、どうやって判断しているのか。（市庁舎①）
- ・個人事業主がステーションにごみを捨てた時に、一般家庭のものか事業系のものか見分けがつくのか。見分けがつかないのであれば、ごみ収集費が発生しているのは、収集運搬を許可業者と契約している事業所だけということか。個人事業主はグレーではないか。（市庁舎①）
- ・飲食業をやっていたが、業者に回収を依頼していた。今日初めて50 kgルールを知った。（市橋コミセン）
- ・事業系ごみであっても、50 kg以内であれば、地域のステーションに出してよいということか。（市橋コミセン）
- ・当社はごみ量が多いので、業者へ依頼している。（市橋コミセン）
- ・50 kgルールは岐阜市独自のルールだと思うが、どのような経緯で始まったのか。（市橋コミセン）
- ・50 kgルールは、これまでルールとしてあるし、事業者を守るということも理解する。しかし、改めて、しっかりと考えていただきたい。（市橋コミセン）
- ・ステーションにごみを出している事業者の収集運搬料は、市民が税として負担しているということか。（市橋コミセン）
- ・仮に、許可業者に頼むとすると、月に50 kg出したとして、いくらくらいになるのか。（市橋コミセン）
- ・50 kgルールを皆知っているのか。私は初めて聞いた。（西部コミセン）
- ・事業者が50 kgルールを理解してごみを出しているか疑問である。（西部コミセン）
- ・事業者が出したごみが、50 kgなのか100 kgなのかどう判断するのか。家庭系と一緒に出したら分からない。（西部コミセン）
- ・収集運搬許可業者と契約している事業者が28.5%というのは、少なく感じる。市内全事業所19,852の多くは、個人などの小規模な事業者ということか。（北東部コミセン）
- ・事業者は、50kg以下であれば、地域のごみステーションに捨てることができると説明があつたが、なぜ捨てるが良いのか。ステーションは、地域が市へ許可申請し、ごみネットも自分たちで買い、掃除もしている。自治会に入っていない事業者が、自分たちの儲けのために出たごみを地域に捨てるのがなぜ許されるのか。50kgなんて量れるはずがない。自治会で許したことはない。そんな勝手なルールを作って、自治会に押し付けるようなやり方はいかがなものか。（日光コミセン）
- ・結構な量を捨てる事業者もあれば、少ない事業者もいる。現実的に、自治会に入っていない事業者がステーションに捨てている。自治会に了解を貰って捨てるよ

うに指導しているのか。(日光コミセン)

- 当地域では、45軒法人があるが42軒が自治会に加入している。そうした地域なら、ステーションにごみを捨てても住民は理解してもらえる。商売している人は、説明すれば理解してきちんと守ってもらえる。(日光コミセン)
- 意見交換会をやると、8割から9割の人が、有料化になってもいいから、自治会とそうでない人と事業者と区別をして収集してくれという。今は、タダでやってもらっているからありがたいが、嫌な思いをしている人もいる。こんなやり方、スピードでやっても何もできない。(日光コミセン)
- 50kgルールはかなり昔のルール。人も、環境も、ごみの内容も変わっている。プラ容器も分別するようになった。時代が変わっているのに、なぜルールは同じままなのか。時代にあったルールに変えれば良い。(日光コミセン)
- 50kgルールを、事業者は知っているのか。市が50kgルールと言っているだけで、事業者は知らないのではないか。農業資材は農協にお金を払って持っていてもらうが、50kgずつに分ければ、ステーションに出して、市が持っていくのか。
(日光コミセン)
- 事業者へは、ステーションへ出すことを進めているのか。それとも、収集運搬許可業者への依頼を進めているのか。(日光コミセン)
- 二人で事業をやっているが、ほとんどごみは出ないので、普通ごみとして捨てている。今の捨て方で良いのか。(日光コミセン)
- 自治会に入っていれば、地域の方も、ごみが少量だということもあり、許している。しかし、そうではなく、大量に出すところがある。パチンコ屋がトラック一杯のごみをステーションに出したこともある。(日光コミセン)
- 柳ヶ瀬には、住宅兼店舗が多い。自分でも食事をするし、客にも出している。自分の分は家庭系、客の分は事業系とごみを分けて出すことは不可能である。法律上の問題ではなく、運用上の問題として、上手く運用したほうが、スムーズに行くのではないか。1階の店舗と2階以上の住居でそれぞれメーターを付けて電気を分けているようなところもあるが、同じようにごみも厳密に分けるべきなのか。柔軟な運用をこれからもやっていただかないと、庶民が困る。大きい会社なら廃棄物の専門部署で法律を守って処理すればいいが、個人事業者は、家庭も事業も区別がない。(市庁舎②)
- 法律は分かるので、ぜひ運用でお願いしたい。(市庁舎②)
- 柳ヶ瀬では、市の収集以外の日は、許可業者が収集している。各事業所が2,000~4,000円払っている。それはどうなるのか。(市庁舎②)
- 50kgルールがいつごろ、どのようにできたのか。見直しはその都度されているのか。50kgは多すぎる。時代に応じて、過去に見直しておくべきだった。
(市庁舎②)
- 会社で出るごみの処理は、業者に依頼している。業者から、ペットボトルのふたなどのプラごみは普通ごみと一緒に出すように言われるが、家庭では分けており、

- 矛盾を感じる。これは正しい捨て方なのか。(南部コミセン)
- 50 kgルールのことを知らなかった。プラごみは分別して、ステーションに出しても問題ないか。(南部コミセン)
- 現在は、すべてのごみを混在して捨てているが、これを生ごみ、プラごみに分けて捨てた時に、業者は別々で回収してもらえるものなのか。ペットボトルとカン は別で回収してもらっている。(南部コミセン)
- 近所の事業者がステーションにごみを出している。50 kgルールを知らなかったの で、事業者が出して良いのかずっと疑問だった。50 kg未満であればステーション に出して良いということか。(東部コミセン)
- 事業者が出すときは、透明の袋というルールはないのか。紙袋に入っている。我々 は一生懸命分別しているが、茶色い紙袋では分別しているかも分からない。米袋 に入っていたこともあったが、ステーションに残っていたことはない。
(東部コミセン)
- 50 kgルールを見直したり、撤廃したり、家庭系ごみと事業系ごみを完全に分ける という予定はあるのか。(東部コミセン)
- 50kg ルールは、月に 50 kgか、一回 50kg か。(東部コミセン)

③他都市の事例（ごみ処理手数料等）について

- 産業廃棄物処理業者と 4 トンのコンテナを 8 万円で契約している。急に、12 万円 に上がった。何か基準があるのか。(長森コミセン)
- 周辺市町は、ごみ処理手数料があるのに、岐阜市はなぜ手数料がないのか。これ からどうするのか。(長森コミセン)
- 岐阜市は焼却炉が高性能だと聞いたことがある。手数料はないが、税金が高いと いうことか。(長森コミセン)
- 他都市では、ごみ処理手数料をどのタイミングで支払うのか。(北部コミセン)
- 経費が増えているという話をしていたが、プラの分別を始めたから、その分が増 えているのではないか。分別したものが資源とならず、ごみとして燃やしている のなら分別する必要はないのではないか。(北部コミセン)
- 周辺市町は、ごみ処理手数料を払う必要があり、岐阜市は払わなくて良い。その ため、他市町から岐阜市へごみを持ってくる事案があると聞かすが、どう対策して いるのか。(市庁舎①)
- 事業系ごみは、県内市町村 42 のうち岐阜市以外は有料化している。家庭系ごみを どうなっているのか。(市庁舎①)
- 今後、事業所のごみ処理手数料を徴収したいということか。(市庁舎①)
- 既に収集運搬料を支払っている。ごみ処理手数料が発生することになったら、こ れに上乗せされるということか。(市庁舎①)
- 事業活動に、学校や官公署などの公共機関も含むとある。福祉事業、特に入所系 の施設では、収集運搬を業者に委託しているが、内容としては、一般家庭と同じ

ようなごみである。それらを区別することなく福祉事業でも処理手数料を徴収するのか。(市庁舎①)

- 有料化すると不法投棄が増えるという話があった。事業所内に不法投棄された場合は、事業者が処理しなければならないのか。市の責任で処理してもらえるのか。(市庁舎①)
- 岐阜市は、収集運搬料を 120 円と指導している。今後、岐阜市もごみ処理手数料を有料化した場合、収集運搬料も指導価格ではなく、許可業者との交渉額となるのか。(市庁舎①)
- 個人事業主は、新規で収集運搬を契約する必要があるということか。(市庁舎①)
- 事業系ごみの処理費用はどれくらいかかっているのか。他の中核市と比べて多いのか。(市庁舎①)
- 指導価格の 10 kg 120 円とは何の値段か。今は、週に 2 回収集してもらい、これでいくらという契約である。毎回出る量が違うから重さは量っていない。(市庁舎①)
- 事業系ごみの許可業者があまりない。10 kg だけでも持って行ってもらえるのか、もっとごみの量がないと契約できないなどの縛りがあるのかも分からない。(西部コミセン)
- 今は分別しているが、有料化となると普通ごみとしてまとめて出す事業者も出てくるのではないか。また、不法投棄も増える可能性があるのではないか。(西部コミセン)
- 草とプラがごみとして出る業種である。業者に毎月 1 万円支払いごみを廃棄しているが、随分前に契約したものが自動更新となっていた。実際には、ビンカンペットボトルはほとんど出ず、草が週に 4~5 袋出るだけだったので、市に相談して契約を更新した。50kg ルールや指導価格 120 円という単価は、市の HP に出ていないので公表していただきたい。(西部コミセン)
- もし、有料化ということになったら収集は業者に依頼することになるのか。(西部コミセン)
- 近所に介護事業所があるが、きちんと業者に委託してごみを処理している。処理に必要な経費は、収集運搬料の 10 kg あたり 120 円だけか。(北東部コミセン)
- 農業用のマルチやビニールは、産業廃棄物であるが、年に一度 JA が回収し処分している。かなりの量になり、けっこうなお金がかかる。事業系ごみの手数料は、当然、事業者が払うべきものである。(北東部コミセン)
- 事業系ごみの処理費用は、経費に計上できる。そういったこともアピールして理解を得ていけばよい。(北東部コミセン)
- 周辺市町は、収集運搬料が許可業者との交渉額となっているが、これはなにか。(北東部コミセン)
- ごみ焼却量は減少しているが、収集運搬経費は上昇している。これをどのように考えているか。(北東部コミセン)

- ・全国の中核市で岐阜市だけが無料、それはありがたことだが、事業系を家庭系と完全に分けているところがどれくらいあるのか。(日光コミセン)
- ・70%近くの人が料金を払っていいと説明があった。他のところは何人説明会に来ているのか。他にも10数人だろう。それを10,000人の70%がOKしたような表現をするのはいかがなものか。このアンケートの内容では、分からない。
(日光コミセン)
- ・事業者といっても、零細のところは、週に1回の収集で良いくらいのごみの量である。柳ヶ瀬には、自宅が事業所という人もいる。スナックは1袋出るか、出ないか程度。大きな事業者と一律に手数料を取るとするのは、おかしい。手数料を取るなら、各務原市のように袋を買って出すのが平等である。(市庁舎②)
- ・指定袋にした方がごみは減るのではないか。(市庁舎②)
- ・事業者だけというのはかなりの抵抗があると思う。事業税も払っている。町費を200円上げるだけでも大騒ぎになる。(市庁舎②)
- ・飲み屋は家庭よりごみが少ない、飲食店でも50kgより少ない。ごみ減量の為であれば、家庭系も有料化した方が良い。(市庁舎②)
- ・もし有料化するとすると、いつごろか。(市庁舎②)
- ・家庭系と一緒に実施することを検討して欲しい。(市庁舎②)
- ・岐阜市の指導価格や、他市町のごみ処理手数料が資料にあるが、これはごみ袋1袋あたりか。ごみ袋の重さを量ると差があると思う。(東部コミセン)

④「その他」

●事業系ごみの排出方法について

- ・事業者の中には、色々な職種があり、例えば、以前は内職で縫製していたものが、規模が大きくなり従業員を何人か雇っている所もある。事業で出たごみをどう捨てるのか指導しているか。(長森コミセン)
- ・縫製業の研修生と思われる外国人が、糸くずや布きれを普通ごみに出している。ごみ袋の口を閉めていないため、糸がネットに絡まることがある。指導していただきたい。(長森コミセン)
- ・設備工事業を営んでいる。4トンのコンテナを産廃業者から借りて、ごみを持って行ってもらっている。一体型のウォシュレットは、電気器具だから、産廃業者が引き受けない。客に、コンビニで(粗大ごみの)ステッカーを買って、持って行ってもらうよう指導している。メーカーで引き取ってもらえるように交渉して欲しい。(長森コミセン)
- ・裁断の仕事をしており、事業で出るごみは掛洞に持って行っている。反物を包んでいるビニール袋を、裁断くずと一緒に持って行っているが、プラスチック製容器包装として出した方がいいのか。今まで通りで良いのか。(北部コミセン)
- ・会社で出たプラごみは普通ごみと混ぜて捨てて良いということか。一般のごみとほぼ同等のものでも、分別して出す必要はないのか。(北部コミセン)

- ・事業系ごみの資源化は、事業者の判断との話であったが、家庭から出るプラスチック製容器包装を再利用しているという趣旨からすると、分けた方がよい。今後、事業所から出るごみも対象になるだろうと想像するし、そのように方針が決まったら従うしかないと考える。(北部コミセン)
- ・焼却場に持ち込んだ場合、マニフェストはどうなるのか。(北部コミセン)
- ・紙ごみが非常に多い。個人情報が入ったものや、法令で何年間保存しなければならないようなものを扱っている。本来であれば、資源として回収してリサイクルが正しいやり方だとは思いますが、どのように処理するのが適切か。DX化が進めば、ペーパーレスになっていくと思うが、1社だけでは対処できない。(北部コミセン)
- ・調剤薬局では、薬の紙パッケージやPPT包装が出る。岐阜市ではないが、以前勤めていた店では、なるべく分け、業者に出していた。分別して事業系として業者に出しているのか疑問に思う店舗もある。事業系として分別されているか、把握しているか。(東部コミセン)
- ・印刷業で出た紙を、資源分別回収へ出している。ほとんどうちの紙。それくらいしか分別回収に出されない。(日光コミセン)

●その他の意見

- ・具体的にどうしたいといった計画があるのか。(長森コミセン)
- ・最近、イエローカードを貼られる回数が少なくなったと感じる。(長森コミセン)
- ・生ごみをカラスが散らかすのを見かける。岐阜は山があるのでカラスがいるのは当然だと思う。福岡市のように夜間収集はできないか。収集車も夜だから早く回れる。(長森コミセン)
- ・各務原市に工場があるが、ここ数年、廃棄物の削減量・削減率が減っていない。環境と経済の両立は難しいとよく言われる。省エネ法では、税制優遇があるが、廃棄物にも同様な制度はあるのか。(長森コミセン)
- ・サラリーマン家庭は、事業者が税を納めている。事業者の場合は、一般家庭と違って、事業者負担として、個人事業税を払っている。市の収入の内訳を考えた上で、支出を考えていただきたい。(北部コミセン)
- ・家庭系ごみの有料化は検討しているのか。(市庁舎①)
- ・産業廃棄物に燃え殻がある。焼却炉の再設置はできないと聞いている。これは、市の方針なのか、国の方針なのか。(市庁舎①)
- ・昨年、プラスチック製容器包装を分けるようになったら生ごみも減った。しかし、プラを洗う手間が増えた。急激な変化は負担になる。時間をかけてやっていただきたい。(市庁舎①)
- ・資源分別回収の時に、各町内で張り付いて見ているのが大変だ。自治会も高齢者ばかりとなり、役をやるのは不可能である。資源分別回収をなくすことを希望する。(市庁舎①)
- ・アパートに入居者以外のごみが捨てられる。近隣のスーパーマーケット等でも同

様である。ごみ箱を撤去すると、管理コストは減るが、よそにごみが捨てられる。岐阜市のごみ収集を減らすならば、他に影響が出る。全体のスキームの中で考えなければならない。(市橋コミセン)

- ・近隣市町はごみ処理手数料を取られる。アパートを経営しているが、アパートの住民に、ごみ減量について回覧で指導している。手数料を取るとなると、税金を払っているのだからという意見が出てくる。事業用のごみと、アパート入居者の生活ごみは違う。今までどおり、無料を継続していただきたい。(市橋コミセン)
- ・ダンボールや雑がみなどの分類を徹底している。手数料は現状維持でお願いしたい。(市橋コミセン)
- ・掛洞プラントへ直接ごみを持って行っている。柳津ステーションで資源物の回収がなくなってしまった。自分で運んだ方がよい場合もある。(市橋コミセン)
- ・生ごみを搬入することは難しいが、プラスチックの量が多いので、粗大ごみ自己搬入施設に、個人でも持っていけるとよい。粗大ごみと併設するなどできないか。(市橋コミセン)
- ・レジ袋は有料化されたが、プラスチックで梱包された商品が多い。例えば、フックで吊り下げられる商品があるが、棚に陳列すればこのフックは必要ないものである。これをなくせばプラスチックが相当削減できる。また、大きな商品は、発泡スチロールで梱包されている。メーカーによっては、発泡スチロールの代わりにダンボールで梱包しているものも増えてきた。しかし、海外製品は、輸送時の衝撃で商品が破損するのを防ぐため過剰な発泡スチロールが使用されている。国レベルの施策となるかもしれないが、発生させなくても良いごみの削減には、どのような指導をしているのか。(市橋コミセン)
- ・熱分解装置というものがあり、化石燃料を使わずにごみをセラミック化することができる。導入するには、ある程度の事業規模がありごみ量もある会社でなければならないが、導入すればごみ問題が片付く。事業者に助成金・補助金を出して普及してはどうか。笠松の某病院で導入したと聞いた。大阪万博でも紹介される予定である。(西部コミセン)
- ・市内の生ごみを集めて堆肥化するようなシステムを作っていただきたい。(西部コミセン)
- ・人件費や燃料費も高騰しているとは思いますが、令和4年度からプラ容器の収集を開始して経費が増えている。プラ容器の資源化には、製造者の負担があると思うが、市民は知らない。ビンカンペットボトルはリサイクルする。リサイクルして何になるのか、どう有効利用されているかというプラスの部分がないので、分別しても経費がかかるばかりだと市民は思ってしまう。経費だけでなく、資源化をお金に換算して、どれくらい還元されているかをアピールしてはどうか。経費が増えているから、今後、有料化するのではないかと市民は不安になる。ごみを有料化して欲しくない。(西部コミセン)
- ・東部クリーンセンターでは、ごみを燃やして電気に変えている。その売電収入は

どうなったか。プラ容器の回収を始めたことで収益が減少しているのではないか。
(西部コミセン)

- ・東農では陶磁器を集めて再利用している。岐阜市は割れた茶碗は粗大ごみに出しているが、再利用するような計画はあるのか。(西部コミセン)
- ・資源分別回収に事業者が捨てにきているのを見かけた。人が少ない時間帯にきているようだ。事業者にルールを周知していただきたい。(北東部コミセン)
- ・新たにステーション設置の要望があった場合に、設置の基準はあるのか。
(北東部コミセン)
- ・過去に、自治会長経験者の家近くにステーションが設置されたことがある。使っているのは、本人と娘の2軒だけであった。(北東部コミセン)
- ・最近、何でも言いたい放題の住民が多い。田んぼのごみを燃やすと苦情が入る。
(北東部コミセン)
- ・低い土地を購入して家を建てているのに、水害が発生したら市へ対策を取るようクレームを入れる。(北東部コミセン)
- ・誰もが分かるルールは、前面に押し出していい。(北東部コミセン)
- ・100万羽規模の養鶏場の整備が進んでいるが、臭いの問題がある。新しい機械を入れ、対策をしているが、風向きによって臭いが気になる。開発許可は県だから、市では何ともならなかったようだが、困っている。(北東部コミセン)
- ・自治会加入率はコロナ前は63%だった。この4年間で10%減って、今は53%である。後数年したら50%を切る。半分以下の人間が半分以上の人間のごみの面倒を見ている。防災・防犯もそう。日赤の募金も自治会をベースにしている。もっと色々な選択肢、良い方法を考える時。(日光コミセン)
- ・長野市や浜松市は無料。ゴミ袋に名前を書いて指定の場所に出さないと収集してもらえない。1つでも名前が書いていないと、ステーションのごみ全部を持っていかない。名前を書いていないごみを誰が捨てたか地域の人を探して、ルール違反した人のところに行く。それで自治会に入る確率も高くなって、浜松市は加入率が90%以上。岐阜市は53%。なぜか、ルールがあいまいだから、自治会に入っても意味がない。お金がかかる、役をやらなければいけないから、どんどん辞めていく。岐阜は地震があってもM6.5程度、津波もない、あるのは水害と台風くらい。他の県に比べたら災害がないから、ごみの問題が一番大きい。
(日光コミセン)
- ・アパートは敷地内にごみステーションを作っている。アパートを建てる時に、自治会に入った方が良いか尋ねられるので、ごみをどうするか聞くと、自分たちで管理する場所を作って出すから迷惑はかけないと言われる。そうであれば、自治会に入ってもメリットはないし、我々も頼ることはないから入会をお断りすることもある。(日光コミセン)
- ・自治会に入っていないとごみを持っていかないのは、違うと思う。(日光コミセン)
- ・1件1件個別に収集すれば自分の責任が明確だが、ステーションも自分の責任で

出してもらいたい。自分の家の前に出しても良いと思えるようなものしか出さない。モラルを徹底する必要がある。(日光コミセン)

- 昔は全世帯が戸別収集だった。家の前にごみ箱があった。パッカー車が入れないような細い道はリヤカーで集めていた。そうした道がたくさんあるから、地域の人が協力してステーションを作った。市にお願いされて、自治会が協力した。強制だったら誰もやらない。(日光コミセン)
- モラルの問題という話があったが、勝手にごみを捨てる車のナンバーを控えている。ルールを守らなくても、誰も何も言わないから守らなくてよいとなる。あまりにもそういう人が多い。地域の関係が希薄になってきたが、昔のように戻すことはできない。今できることは、ルールを守らない人にはペナルティを付けるしかない。よいことをしたらポイントを付ける。今できる最善の方法でごみのことを考えてもらわなければならない。(日光コミセン)
- コンビニのごみは事業系ごみだが、家庭ごみを持ってきて捨てるものがある。事業者の負担となっている。(南部コミセン)
- ステーションは自治会の責任で設置するということが良いか。関市が有料化になった時に、家の前が通勤道路で、ネットをかぶせてあったが、ごみを捨てられた。わざわざ、1本中に入ったステーションまで捨てに来る者もいた。しっかりとした囲いを作ったところ、そういったこともなくなった。(東部コミセン)
- 事業系ではないが、近所の高齢者夫婦が、ステーションまで遠いから、少量だが家の前でごみを焼却している。農業系のごみなら許されているはずだが、家庭系ごみはだめではないか。取り締まったり、罰則規定などはあるのか。
(東部コミセン)

2 意見交換会（経済団体・事業者団体）で寄せられた意見

意見交換会	開催数	出席者数	質問・意見数
経済団体・事業者団体	9回	89人	28件

①事業系ごみの現状（法令の規定、ごみの区分、本市の事業系ごみの現状）

- ・ごみ焼却量を 10 万 t 以下とする目標を掲げ、取り組んでいるが、事業系ごみの有料化に踏み切ったとしても、その目標は達成できないと考える。家庭系ごみも有料化して、目標達成を目指し、その上で令和 9 年度の岐阜羽島衛生施設組合のごみ処理施設完成・掛洞プラントの稼働停止に備えるというスケジュールを組む必要がある。（岐清協）
- ・今後、事業者に対し、ごみ減量の指示などが出るのか。（事業者団体）

②本市の事業系ごみの取り扱い（50 kgルール等）について

- ・市内事業所の 3 割弱しか許可業者と収集運搬の契約を結んでいない中で、「50kg ルール」を廃止し、許可業者に収集運搬を依頼することができるか、疑問である。（岐清協）
- ・市内に約 2 万 6,000 箇所あるステーションに、事業系ごみが混入しているかどうかを判定することは不可能である。（岐清協）
- ・9 月議会で、市内の喫茶店は、約 530 軒と答弁があったが、許可業者と契約しているのは、200 軒程度ではないか。（岐清協）
- ・50kg ルールの廃止に向け、長い年月をかけて取り組んでいくならまだしも、令和 7 年度に 10 万 t 以下という目標に向けて、50kg ルールを廃止して有料化も行うということを短い期間で行うことは難しいのではないか。（岐清協）
- ・事業者が排出する資源ごみの一部は、現在、ステーションに出されていると思うが、ステーション排出が禁止されると、リサイクルに影響が出るのではないか。（岐環境）
- ・家庭系ごみと事業系ごみを混在して排出している場合は、どうしたらよいか。（事業者団体）
- ・以前、柳商連事務所から出るごみをステーションに出して良いか聞いたところ、認められないという趣旨のことを言われた。先ほど聞いた 50kg ルールのお話を踏まえると、出してもよいのではないか。（事業者団体）
- ・50kg ルールは、岐阜市独自の特徴的なものということで良いか。（事業者団体）
- ・50kg ルールがあるということを、今回の話で初めて知った。（事業者団体）
- ・収集運搬料の指導価格が 10kg あたり 120 円とのことだが、その都度重さを測っているわけではない。実際の契約金額はどのように算出されるのか。（事業者団体）
- ・50kg ルールがあるということを、今回の話で初めて知った。（事業者団体）

③他都市の事例（ごみ処理手数料等）について

- ・許可業者と契約していない事業所から排出されるごみの扱いと、家庭系ごみ削減に対する施策を考えなければならない。単純指定袋又は有料指定袋を、事業系・家庭系のどちらにも導入することが一番円滑に進むのではないか。「50kg ルール」を撤廃するよりも現実的である。（岐清協）
- ・アンケート結果では、70%以上の事業所が手数料の徴収が必要と回答しているが、75%以上の事業所がステーションにごみを排出している状況で、実際に手数料を徴収するとなっても、本当に手数料を払うのか、疑問である。（岐清協）
- ・今回の意見交換会の趣旨は、事業系ごみの有料化を考えているという理解で良いか。（事業者団体）
- ・収集運搬料、処理手数料ともに10kg 当たりいくらという説明があったが、実際の金額はどのように算出されるのか。（事業者団体）
- ・事業系ごみの現状について説明を受けたが、今後、ごみ処理手数料の徴収を検討しているということか。（事業者団体）
- ・今回、この話をしたということは、有料化を考えているということか。（事業者団体）
- ・今後、岐阜市も有料化するのか。（事業者団体）
- ・グループホームで発生するごみは、入居者が排出するごみであり、家庭系ごみと同様である。家庭系ごみのように市が無償で収集すべきではないか。（事業者団体）
- ・一通り話を聞いた限り、今後、岐阜市も事業系ごみを有料化するということか。（事業者団体）
- ・これまで、有料化を議論してきたことはあるのか。（事業者団体）

④「その他」

- ・ごみ収集について、全国的には、区域を定めていないところも多いが、岐阜市は、許可業者の区域が決まっている。効率的にごみを収集するには、区域が決まっていたほうが良い。（岐環境）
- ・リサイクルセンターに自己搬入する仕組みが整っていない。（資源協）
- ・民間の無料回収ステーションもごみ減量施策の一つである。（資源協）
- ・災害時のごみ処理について、資源物の分別を考えたほうが良い。（資源協）
- ・ごみは減少しているのに、何故、ごみ収集運搬に要する経費が増加しているのか。経費削減の努力をしてほしい。（事業者団体）

3 意見交換会アンケート（各コミュニティセンター・市庁舎）で寄せられた意見

区分	調査期間	回答者数	自由意見数
コミセン等意見交換会アンケート	R5. 11. 1～R5. 11. 24	63人	29件

①事業系ごみの現状（法令の規定、ごみの区分、本市の事業系ごみの現状）

- ・未来にごみを残さないために、適切なコストはかけた方が良いでしょう。また、ごみの処理に発生するコストは、徴収することで、未来の為の投資にすべきと思います。（市役所①アンケート）
- ・事業者は自ら、自らのごみを処理すべき。事業者責任。意識の欠如。なぜ自らの製造責任を考えないのかを指導すべき。（市橋コミセンアンケート）
- ・大量消費社会であることがごみを多くしている。（市橋コミセンアンケート）
- ・事業系のごみを減らすために、資源ごみに流入する（日光コミセンアンケート）
- ・岐阜市が事業系ごみの分別回収を指導されていないと聞いてショックを受けた。家庭ごみについて我々は分別を心掛けているのに事業系ごみは野放しにしておいて、7年度目標を達成させるのは難しいと思う。（南部コミセンアンケート）
- ・事業所の大小を問わず立入調査指導を行ってはどうか（南部コミセンアンケート）
- ・家庭系ごみは年々減少しているのに、事業系ごみの量が減らないのは、中小事業者の減量意識・分別意識が低いのでは？（東部コミセンアンケート）
- ・処理方法を明確に提示してください。分別をしていますが、処理先を区別して提示して頂くとよいと思います。（西部コミセンアンケート）

②本市の事業系ごみの取り扱い（50 kgルール等）について

- ・50キログラムというのがあり、安心しました。せんいクズが出るのですが、長いものは短く切ったり生地は小さく切って出しています。今まで通りできるならば良いです。（長森コミセンアンケート）
- ・聞くところによると自分のところは少ないので家庭ごみに出していると聞くことがあります。そういうものをどう考えて見えるのか？（市役所①アンケート）
- ・事業系ごみの処理の趣旨が分かりにくい。50 kg内なら、自治会のごみステーションに捨てて良いなど知らない人が多い。（市橋コミセンアンケート）
- ・自分の所のことですが、結構分別していると思います。プラごみ、紙、ダンボール、ペットその他。できれば今のまま回収してください。（西部コミセンアンケート）
- ・50 kgルールが実施されている事を各事業者へ周知されたし。現状、業者へ出している会社もある。（日光コミセンアンケート）

③他都市の事例（ごみ処理手数料等）について

- ・事業系ごみの分類には、福祉事業も含まれているが、その排出されるものは生活に伴うものであり、一般的な収益事業とは異なる為、事業内容により、ごみ処理の手数料徴収の可否は行うべきと考える。第一種福祉事業の徴収はしない。できれば第二種も同様。企業等の収益事業の徴収は必要と考える。
（市役所①アンケート）
- ・有料化するなら、家庭系・事業系の同時実施が公平だと考える。
（市役所①アンケート）
- ・ある程度処理費がかかるのは仕方がない（市橋コミセンアンケート）
- ・（事業系ごみの処理が）市民の負担となっているのであれば事業者が負担すべき
（市橋コミセンアンケート）
- ・事業系ごみは家庭系ごみに先がけて有料化が良いと思う。50 kgルール of 徹底と共に、分別の徹底もしっかりと。（東部コミセンアンケート）
- ・不公平の無い処理（市役所①アンケート）
- ・従前どおりでよいと思います。（市橋コミセンアンケート）

④「その他」

●事業系ごみの排出方法について

- ・ウォシュレット、交換の時代に来ていてめまぐるしい。取替え、メーカーに云っても取り会ってもらえません。役所の方から、2 件のメーカーがほとんどです。何とか引取りしてもらえる様に指導願います。（長森コミセンアンケート）
- ・農業従事者（農家）はどう扱われるのか。（西部コミセンアンケート）

●その他の意見

- ・プラスチック製品の製造販売をしている企業です。新聞、TV、報道でプラスチックが悪者扱いされているニュースを散見します。プラスチック製品は現状なくてはならない素材であることを PR していただければと存じます。
（長森コミセンアンケート）
- ・意見の言いやすい会議の中で言いやすい場所でありました（市役所①アンケート）
- ・本日の対象人が分かりにくい。はっきり示すべき。（市橋コミセンアンケート）
- ・熱分解装置で自家処理をすれば化石燃料を使わなくて済むので、そういうことを考えたらどうか。補助金などで装置の導入を進めるとか。
（西部コミセンアンケート）
- ・1 人の意見で終わり、来るべきではなかった。（日光コミセンアンケート）
- ・今説明会は、何故部長が出たのか？他の会議でも出て頂きたい！
（日光コミセンアンケート）
- ・全てごみを排出する人のマナーの問題である。（日光コミセンアンケート）

4 意見交換会アンケート（経済団体・事業者団体）で寄せられた意見

区分	調査期間	回答者数	自由意見数
経済団体等意見交換会アンケート	R5. 12. 4～R6. 1. 22	63 人	10 件

①事業系ごみの現状（法令の規定、ごみの区分、本市の事業系ごみの現状）

- ・なぜ、10 万 t にすべきなのか等、理解がおよびませんでした。
（事業者団体アンケート）
- ・削減できる具体的な事例を挙げて頂きたい。（事業者団体アンケート）

②本市の事業系ごみの取り扱い（50 kgルール等）について

- ・できれば、現状のままでお願いします。（事業者団体アンケート）

③他都市の事例（ごみ処理手数料等）について

- ・指定のごみ袋によるごみ処分ならやむを得ないと思う。
（事業者団体アンケート）
- ・他の市や町では一般家庭ごみも有料であるため、一定の負担は事業者もするべき。（事業者団体アンケート）
- ・これ以上値上げは大変です。ごみは少なくなっているのに値上げは異常である。（事業者団体アンケート）
- ・営業にかかわることであり当然である。（事業者団体アンケート）
- ・ごみ処理手数料の徴収について、応分の負担は必要との認識はあるが、住み良い街づくりとしての要素（負担）にできないか。（事業者団体アンケート）
- ・人口減少が進む中、ごみ処理費が必要になって行くのは、当然、必要であると思われます。（事業者団体アンケート）

④「その他」

- ・ごみをなくす（事業者団体アンケート）

5 ホームページ意見募集等で寄せられた意見

区分	調査期間	回答者数	自由意見数
市ホームページ意見募集	R5. 11. 1～R6. 2. 15	10 人	18 件
その他（FAX）	—	1 人	2 件
計		11 人	20 件

①事業系ごみの現状（法令の規定、ごみの区分、本市の事業系ごみの現状）

- ・ごみの減量については、人口減少に伴い、事業者も生産人口も減少していくので自然減していくと思う。（ホームページ）

②本市の事業系ごみの取り扱い（50 kgルール等）について

- ・事業ゴミは、事業者の責任でなされるものではないのでしょうか？岐阜市はそのような制度になっていないのでしょうか。なっているとしてもそのようにしてみえるのであれば、正しく広報していただくと有り難く思います。30年前と今の状況が違うのですから、場所や集積場数も変化していくのがふさわしいと思います。そのことが分かるように広報してもらえればと思います。（FAX）
- ・50 kgルールを廃止することは、本来事業者が収集運搬料を負担すべきものの観点から必要と考えるが、岐阜市のごみ処理における歴史的背景により小規模の事業者や個人事業主に対して、事業活動の負担を軽減するための制度であったと記憶しており、その制度の廃止をすることは、制度制定当時であっても排出事業者責任がありますから廃止に至る理由が必要であります。（ホームページ）
- ・現状のごみ出しルールは、ごみ袋の色を透明または半透明と指定しているのみであるため、ステーションに排出されるごみ袋が家庭系ごみか事業系ごみなのか判別しづらい状況です。制度廃止にあたって事業者が違反してステーションに排出することはあってはならないと思います。不平等が発生するルール変更は賛成できません。周知活動だけの情報や事実を伝えるだけでは無く、啓発し事業者全て理解させるべきであります。混乱が起きると思います。（ホームページ）
- ・ごみ処理の制度の見直しは必要なことだと思いますが、混乱が起きないように時間を掛けてお願いします。（ホームページ）
- ・50 kgルールは残り、それ以上排出する事業所が対象ですか。（ホームページ）

③他都市の事例（ごみ処理手数料等）について

- ・現状でうまく運用できているのであれば、手数料の徴収は不要と考える。（ホームページ）
- ・減量という観点からみても、有料制にする等の手段で、自分の事業で出たゴミを

自分でしっかり把握して、処理することが、有効ではないかと思います。(FAX)

- ・岐阜市のごみ処理にかかる経費負担と県内市町村の状況より手数料の徴収はやむを得ないとこだと思います。しかし、ごみの焼却量を10万t以下とするごみ減量の目標を達成するための有料化であるなら、事業系ごみの2倍近く発生している家庭系ごみの扱いはどうなるのですか？今回は事業系ごみ処理のあり方に関しての意見募集ですが、ステーションに事業系のごみが排出されていることから、家庭系ごみ処理のあり方も平行して出してもらわないと有料化の方法には賛成できません。(ホームページ)

- ・他都市の事例として、事業系ごみの有料化は岐阜市以外全て実施されており理解できますが、徴収方法について県内市町村の多くが導入している許可業者に処理手数料の支払い代行（搬入量に応じて支払い）させる方法は本来ではないと考えます。

今回の意見募集の資料にもありますが、事業者の責任と負うべき負担を考えると、本来排出事業者が岐阜市に支払う処理手数料を収集運搬業者に代行させるべきではありません。支払い代行を収集運搬業者にさせる場合、多くの負担とリスクを抱えます。収集運搬業者と排出事業者との契約の多くは、収集運搬料の支払いを収集作業後に精算します。支払いは契約事業所により異なりますが、前払いは無く、翌月、翌々月、半年先、1年先後払いと様々であり、支払いが必ずではありません。中には事業者が倒産したり夜逃げしたりと支払いがされないまま回収不可能になることもあります。回収不可の事業所の未納料金は放棄するしかありません。しかし、搬入した量の処理手数料は支払いしなければならないことを考えると、事業者が支払わなかった処理手数料を収集運搬業者が負担することになります。

徴収方法は、収集運搬業者の負担にならない方法でお願いします。

県内市町村の中で山口市は事業系可燃ごみ指定袋（1枚130円）を市が事業者販売しています。(ホームページ)

- ・家庭系ごみの有料化も検討をしているかと思いますが、今後家庭系ごみが有料化になった場合、現在検討している事業系（重量制）と同じ方法で徴収はできない。ごみ処理の手数料の徴収方法が事業系は重量制で、家庭系は重量制以外の有料袋や有料シール等の異なる制度になります。事業系と家庭系で手数料単価の差はあっても良いと思いますが徴収方法が異なるのは賛成できません。(ホームページ)

④「その他」

●事業系ごみの排出方法について

- ・現在、ビルのゴミ収集においては、廃プラは現在のところ収集不要となっています。しかし、社内で案内しましたら、キレイなものは、分別回収可能なのでは？と感じるときがあります。(ホームページ)
- ・本来、産業廃棄物で処理すべき廃プラスチック類などの廃棄物を事業系ごみ（事

業者から出る粗大ごみなど)として受けているなあなあな現状がある。岐阜市が一般廃棄物と産業廃棄物の区別を厳格に行い、事業者には産業廃棄物は産業廃棄物として適正に処理させて、一般廃棄物のみを厳格に受け入れるようにすれば、いわゆる事業系ごみの処理量が減ると考えられる。(ホームページ)

- ・名古屋市同様に学校、事務所等官公庁もプラ等しっかりと分別する。また、実際にやっているところは各自の昼食等でごみも各自自宅に持ち帰っている。原則私物は捨てない。自宅の粗大ゴミを事業所で処分する可能性があるため。ゴミ箱を安易に設置しない。(ホームページ)
- ・近隣の電器店からごみが毎回沢山出されているが誰も指摘しないがいいのか。(ホームページ)
- ・現状の制度の中で、やむを得ず市民が家庭系のごみを有料で許可業者に委託し、また集合住宅(アパート・マンション)、高齢者の集合住宅等においても理由は分かりませんが許可業者による有料収集している所があります。有料化にも関係しますが制度変更に対する取り扱いを明確にしてください。(ホームページ)

●その他の意見

- ・野焼きの原因となっている、稲わらや、もみ殻、畑の蔓を定期的に回収してほしい。近隣とのトラブルの原因となる。(ホームページ)
- ・ペットボトルのラベルをはがして処分させる。名古屋市同様アパート、マンション等にはゴミステーションを設置するよう義務付ける。地域ステーションには捨てない。玉宮等飲食店街には残飯回収場を設置して堆肥、家畜等の飼料活用を推進する。(ホームページ)
- ・田や畑で出る、稲藁等についても時期を決めて市で回収してほしい。燃やす方がいるので、煙で困っている。高齢者で車を持っていない方のために是非回収して回して下さい。(ホームページ)
- ・普通ごみの有料化の検討はどうなったのですか。(ホームページ)